

2024年4月25日

第8回 放送番組審議会 議事録

○日 時：2024年4月25日(木) 19時～20時 / 成美教育文化会館 3F 和室 (いずみ)

- 内 容
1. 議長挨拶、出席委員および TOKYO854 くるめラ出席者紹介
 2. 直近の事業概況報告
 3. 特定番組へのご意見・ご感想 ※委員は事前に番組を聴取済み
 4. 放送番組全般へのご意見・ご感想

○委員会出席者

植田貴俊 / 清瀬市役所地域振興部長 *議長

島崎修 / 東久留米市役所 監査事務局長

栗山丈弘 / こだいら観光まちづくり協会代表理事

長谷川達人 / 清瀬市みんなのタコ公園 代表

※井上淑子（東久留米市文化協会副会長）、新井啓明（小平市文化振興財団事業課長）の
両名は、諸事情により欠席

○TOKYO854 くるめラ出席者

高橋靖（代表取締役）、鈴木実穂（取締役）、小梶雅善（局長）、関博弥（局長補佐）

※土田健太郎（取締役）は番組対応のため欠席

1. 出席者紹介ならびに議長：植田様挨拶

清瀬市も4月より観光まちづくり協会が発足となり、今までと違った視点で街をPRしていく意識を持って、既に地域で活躍している方々と情報共有を密にして、連携を強化して街を活性化していきたい。そのための媒体として TOKYO854 くるめラが情報発信の推進力になると期待しています。現状の番組放送をさらに進化させるべく、忌憚の無いご意見を積極的に発言いただく番組審議会として運営していきたいと思えます。

※続いて出席者各自簡単な自己紹介

2. TOKYO854 くるめラ営業概況 / 高橋より近況報告

開局して5年が経過し、6年目を迎える本年も地道な活動の成果として、売上が拡大し初の単年度黒字化となった5年度以降も継続的に黒字傾向のまま推移している。地域情報番組に加えて引き続き真摯な番組制作にて番組提供いただいているスポンサーの支援の元、地域コミュニティに優良な情報発信を続けてきた事が身を結びつつある現在です。

継続してきていることはずっと変わらず、実直に昼間は地域情報を放送し、夜は地域の人たちによる専門性の高い番組を放送する2本柱を徹底している。土日は再放送中心であるが、時に生放送を挟み変化をさせて放送プログラムを展開している。

特出した取り組みとして、小平第二小学校開校150周年記念番組を月一回放送にて1年間放送を実現したこと。150周年実行委員会のスポンサー番組として運営し、記念式典後の生放送を行い、ラジオ生放送を校内放送とも連携するなど、局内外より好評いただき反響いただく結果となった。今後は放送網内の学校記念式典や行事に絡めたラジオ番組も展開していきたい所存。

その他、くるめラマガジンの表紙を地域の旬なトピックを取り入れた過程で「滝山・前沢団地のパンダ」と商店街の人々を表紙モデルに起用していることと連携した番組も実装している。加えて、現在マガジン掲載の番組スポンサーならびに加盟店、広告出稿スポンサーを合わせて取引会社120社を超えている状況を近況報告として紹介。

3. 特定番組への委員からのご意見・ご感想

特定番組：11/18(土)12時より生放送「にじこラジオ」

小平第二小学校150周年記念番組／記念式典後に児童3名出演の生放送と校内放送

※同録音源を編集し、冒頭＋終幕のべ5分を審議会会場にて聴いていただく。

(柴崎委員)

- ・とにかくライブ感がある内容で「生で伝わる臨場感が素晴らしい」
- ・番組制作スタッフに感謝すると共に「ライブ感が改めて良いと率直に実感」

(栗山委員)

- ・神山パーソナリティと校長先生のやり取りが心地良く聴けた。
- ・校長先生を中心として視座高く取り組み番組成立にも思い切った配慮も功を奏していた。
- ・この番組を機に他校での展開も期待している。

(長谷川委員)

・先入観なく聞いていて、とても良い印象の番組であった。欲を言うと当該学校をよく知らない方が聞いてもわかる情景描写や人物描写を含めた補足コメントなどあるともっと良い。

(植田委員)

・身近なテーマ設定を用いた点がラジオ視聴によって親近感を持ってもらえる実感あり。
・身近さがくるめラという媒体の良いところで、今後の地域への浸透も期待している。

4. 放送番組全般へのご意見・ご感想

(栗山委員)

・ケア TOKYO854 (福祉テーマ) 4/25 (木) 14 時放送回を聴いた。
・出演ゲストが運営するコミュニティカフェの実践についてのトークに惹きつけられた。
・パーソナリティから声がけして出演に至ったゲストとの場づくりの話に多くの学びあり。
・偶然の視聴体験から具体的な興味と関心と気づきを得る出会いのキッカケがあった。

(長谷川委員)

・福祉 de エンタメ ♪ 第二・第四土曜 20 時放送回を聴いた。
・福祉とエンタメがマッチングした良い構成となった内容を聴いてほっこりした。

(島崎委員)

・小野早希恵の LOVE セラピー 第二・第四木曜 18 時放送回を聴いた。
・女性 2 名によるパーソナリティ番組はラジオならではの空気感含めて聞きやすい気づき
・民族音楽についての内容を聴いて、アイヌ民族や少民族の文化紹介することで多様性の評価とグローバリズムに対する再認識と学びを持った。

(植田委員)

・島崎委員と同様に LOVE セラピーを聴いて、教養番組のようで素晴らしく学びを得た。
・解決！我が家のホームドクターを聴いた際は、高齢社会という状況の中で聴きたい情報が満載であり、番組内容としても PR 次第で地域住民の需要を大いに感じる魅力的な番組だ。

※植田議長よりその他ご質問について委員にヒアリング

(長谷川委員)

・ぷらぷらのネットワーク網よりも上位なプラットフォーム、例えば radiko に移行するのはどうか？

(高橋) ※上記の長谷川委員への返答

・ radiko は県域局までの制限あり。我々コミュニティエフエムでは FM プラプラ頼り。県域局以外の局は radiko 移行は実現が難しいのが実情。

5. 質疑応答

(植田委員)

・清瀬ふれあい商店街（演歌）放送が流れているが、商店街にもコミュニティエフエムくるめら番組放送に切り替えて放送することは検討可能か？

(鈴木・高橋) ※上記の質問に返答

・くるめらマガジンの表紙に掲載するキッカケとなった番組「滝山・前沢ごきげんラジオ」は毎回屋外から放送しているので、商店街や団地では放送を流そうという話も浮上しているため、努力次第で今後実装できたら、その他の商店街エリアへも展開したい。

(植田委員)

・コミュニティエフエムの中で機動力を活かしてスタジオ以外のいろんな場所に出向いて放送を展開しているところってどれくらいあるのでしょうか？

(高橋) ※上記の質問に返答

・東京のコミュニティエフエム中ではくるめらは一番屋外から放送している局でないかと思います。地方にはいろんな局がある中では予算を持っている所は移動放送車を設備として持っているところもあるが理想としては我々もそういうところまでいきたい。

(植田委員)

・交通渋滞情報の放送も視聴していてドライバーに届けるための道路上で FM85.4Mhz TOKYO854 くるめらといった看板掲出するのはどうか？

(高橋) ※上記の質問に返答

・ 広告費の都合ですぐに実現することは難しいですが、小金井街道には広告出稿できたら放送エリア網羅の都合でも展望としては実現したい。

以上

・ 上記の議事録は、以下の方法で公表します。

1. 局の情報番組等で紹介
2. 書面にて局で保管 常時閲覧可能
3. インターネット等で広く周知